



今年産の早生種は平年より酸度が低い傾向にあります！！

天気予報では、向こう1か月間の気温が高いことから、着色よりも果肉優先になることが予想される為、ストップールの早期散布は行わないようにしましょう。

軟質果や油上がり等の品質低下を軽減するため着色の進んだものからすぐいもぎの徹底に努めましょう！！

◆ふじの肥大状況◆

ふじの肥大状況は8月2日現在 (cm)

	薬師堂	狼森	小沢
本年	6.8	6.3	6.3
平年	6.1	6.4	6.1

◆ストップール散布デー◆

品種	散布日
未希ライフ	8月15日
早期着色系つがる	
きおう・サンつがる	8月20日
葉取らずつがる	

※展着剤不要・1,000倍散布

◆着色管理◆

早生種

時期～陽光面に着色し始めたところが葉摘みの開始時期の目安となります。ストップール散布後5日以上たってから行いましょう。

程度～葉摘みはツル元を中心に行い、果実に付着している葉を摘み取る程度にしましょう。つがるなどは、葉の枚数や芽の数が少ないため、強すぎる葉摘みは品質を下げる原因となります。(着色・鮮度・油あがり・落果など)

※近年、つがるの着色時期に高温が続き、日焼け果が見られております。最低気温が20℃を超えるような日が続く場合、必要以上に葉摘みをして着色が進まないため、過度の葉摘みは慎みましょ。

葉取らずつがる

葉取らずつがるは葉を取らないかわりに果実に日光が当たるよう、ツルまわし、支柱入れや枝つり、徒長枝整理などをこまめに行いましょう。

中生種

近年、8月中旬頃からひろさきふじやジョナゴールド等の葉摘み作業を行っている園地が見られます。早くからの強い葉摘みは、地色が戻り鮮明な色にならず、糖度も低く貯蔵性が下がります。ひろさきふじの葉摘みは9月5日頃から葉取りを行いましょ。ジョナゴールドの葉摘みは除袋後に行うようにしましょう。

◆日焼け防止対策◆

果実に急に強い日差しを当てると日焼けを起こすので、高温晴天時の着色管理や、支柱入れ等には十分注意しましょ。時間帯は果実の温度が上昇した午前10時～午後3時頃に実施しますが、前日の夜温が極端に低い日や、日中の温度が高温となる日は、時間に限らず注意しましょ。なお、日中の気温が30℃以上になると日焼けの発生が多い傾向にあります。

◆薬剤散布◆

回数及び散布量	散布時期	対象病虫害	基準薬剤	1000ℓ当たり薬量	注意点	
500L /10a	8月半ば	斑点落葉病・炭そ病 ハダニ類 ハマキムシ ・モモシンクイガ	1 アーデント 2 アリエッティC	2,000倍 800倍	500ml 1.25kg	<ul style="list-style-type: none"> 高温が続いておりハダニ類の発生が懸念されます。ダニの発生が見られる園地ではダニ剤(オマイト水750倍を加用しましょ。※オマイト水和剤は収穫前日数3日前となりますので注意しましょ。 ※ダニ剤は年1回となっておりますので注意しましょ。 ストライドは高温時散布で薬害発生のおそれがあります。
500L /10a	8月末	斑点落葉病・炭そ病 ハダニ類 ギンモン・ モモシンクイガ	1 ダイパワー 2 フェニックスF	1,000倍 4,000倍	1kg 250ml	
500L /10a	9月半ば頃 特別散布	すす病	ストライド 又は オーソサイド※	1,500倍 800倍	666g 1.25kg	

※ 特別散布でオーソサイドを使用する場合は、成分キャプタン(アリエッティC、ダイパワー、オーソサイド)の総使用回数6回を超えないようにしましょう。

栽培履歴は9月1日(水)まで提出しましょ！！